

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
上田城下町地区

平成28年3月

長野県上田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	中心市街地の歩行者通行量	人/日	22,204	24,257	18,921	確定 ●	×	あり	17,416	H27年10月	×	歩行者通行ルートに変化が見られるため、既知点の集計においては減少したと推察される。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	H26年度より追加した調査地点を含む全地点ではほぼ横ばいで推移しており、減少傾向に歯止めがかかりつつあるが、次期計画においても数値目標に定め、改善を図っていく。
指標2	交流・文化施設の利用者数	千人	127	152	152	確定 ●	○	あり	192	H27年10月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	多様なニーズに応えることができる施設が整備されたことにより、利便性が向上し、魅力的な事業展開が可能になった。
指標3	上田城跡公園周辺施設利用者数	人	174,754	180,000	200,102	確定 ●	○	あり	223,437	H27年5月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	各施設で年間を通して開催される各種イベントや、魅力ある特別展の開催などにより、来訪者の増加につながった。
指標4						確定 ●		あり		H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ●		あり		H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	中心市街地の居住人口	人	6,209	/	6,124	確定 ●	/	/	6,104	H27年10月	△	市全域が減少傾向にある中、中心市街地における減少幅は小さく、ある程度の誘導効果は現れていると思われる。	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	引き続き、安全で利便性の高い居住環境の整備を促進していく必要がある。このため、次期計画においても数値目標に定め、改善を図っていく。
その他の数値指標2	中心市街地の世帯数	戸	2,838	/	2,878	確定 ●	/	/	2,880	H27年10月	○		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	街なかへの居住に対する利便性が高まったものと考えられる。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 ●	/	/		H 年月	/		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	幹線道路及び生活道路の整備	・長野県による主要地方道路長野上田線、小諸上田線の街路事業に対し、要望活動や事業負担金などにより整備促進を図った。	・歩道の整備や交差点改良の実施により、歩行者や自転車通行の安全が確保できた。	・地域間を結ぶ骨格幹線道路の事業推進を図るため、国・県への支援を継続していく。
	交流文化芸術センターの利用促進	・さまざまな内容の公演やイベント、参加体験型事業の実施に加え、積極的に広告活動を行った。	・高い施設稼働率で推移しており、市内外から多くの利用者を集めている。	・開館初年度で、記念事業の開催など特殊事情もあるが、稼働率が高い分、人件費をはじめとした維持管理費も多額になっているため、適正な収支となるような運営に努める必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	少子高齢化に対応した交通体系づくり	・交通量の多い主要骨格道路の無電柱化や歩道整備 ・利用者に分かりやすい案内板の整備	・歩道の整備により、高齢者や車いす利用者が安心して通行できる交通環境が整えられた。 ・中心市街地の既存サインを見直し、誰もが分かりやすい案内表示となるよう改修を行った。	・中心市街地の幹線道路であり、観光動線でもある市道の幅員構成の見直しと無電柱化を進め、交通の円滑化と車両・歩行者の安全確保を図る。
	賑わいのある中心市街地の再生	・交付金事業を活用し、街なかへの居住施設整備に対する支援を行う。	・支援を確実なものとするため、事業者、県とも連携し、事業化を進めた。	・早期に効果の発現が図れるよう、早期着手に向け、引き続き事業者と連携し事業推進を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・歴史的資源と地域の特色を活かし、安全・安心で賑わいのある中心市街地の再生を図る。	・歴史的資源を活かした、城下町にふさわしい、歴史の薫る市街地整備を推進する。 ・人と自然にやさしい交通網を構築し、市民や来訪者の利便性と回遊性の向上を図る。	H27～H31	・城下町の風情が感じられるまちづくり推進のため、景観に対する住民意識の向上が不可欠である。 ・上田城跡公園を中心に来訪者が増加しているが、駐車スペースの不足と中心市街地への回遊性が課題である。このため、大型車を含む駐車場の確保と、これらを結ぶ公共交通サービスの充実が必要である。